

授業 コード	11107	科目名	社会関係論		担当者		鹿野 由行			
		副題		開講期	前期	単位数	2	DP対応	S1,S2	
【授業概要】										
社会学の古典的なテキストを読むことで、社会への疑問や関心から「社会学的な問い」をたてるために必要な能力を学ぶ。										
【到達目標】										
社会学の概念や理論を学び、社会学的思考法に慣れ、「問い」を発展させることができる。身近な社会関係を分析するための「もの見かた」ができる。										
【授業方法・計画】										
授業では配付資料と教科書をもとに講義形式で進める。										
第1回	はじめに									
第2回	自我の社会性(G・H・ミード)									
第3回	文化としての性差(M・ミード)									
第4回	動機の語彙(C・W・ミルズ)									
第5回	自己呈示のドラマツルギー(E・ゴフマン)									
第6回	多元的現実の構成(A・シュッツ、P・L・バーガー)									
第7回	ダブル・バインド(G・ベイトソン)									
第8回	ラベリングと逸脱(H・ベッカーほか)									
第9回	預言の自己成就(R・K・マートン)									
第10回	外集団への敵対と内集団の親和(G・ジンメル)									
第11回	インフォーマル組織の発見(G・E・メイヨー)									
第12回	準拠集団と総体的不満(R・K・マートン)									
第13回	多集団の交錯と個性の発達(G・ジンメル)									
第14回	アイデンティティとモラトリアム(E・H・エリクソン)									
【準備学習・復習】										
準備学習: 次回の講義の該当ページをあらかじめ読んでから講義に参加すること(100分程度)。 復習: 授業を理解できているのかを確認する。自らの問題関心と引き付けて講義の内容を再検討すること(100分程度)。										
【課題に対するフィードバックの方法】										
授業終了とともにコメント要旨を提出してもらう。 次回の授業時にコメントや質問への返答を行う。										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
理論や概念など座学が中心となるため、それを理解したうえで授業に臨んでほしい。授業内容等について質問等がある場合は、授業終了後に受け付けます。										
成績評価方法	小テスト: 各回の授業内容の理解度・・・40% 試験: 授業内容の確認と総合力・・・60%									
教科書	『命題コレクション 社会学』 作田啓一/井上俊編 ちくま学芸文庫									
参考書	特にありません。									
SS2301	授業に関連する実務経験				なし					